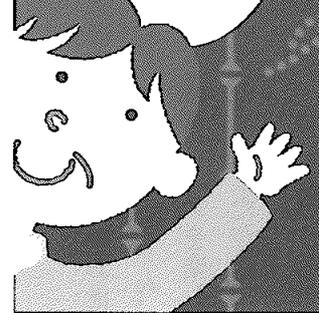


会員リレーコーナー

どうぞも
しばらくです



今回登場された会員からバトンを渡された会員の皆さんは次回の掲載になりますのでよろしくお願いたします。

東北電友会会報 編集委員会
※氏名の後の（ ）は退職年を示す。



霞城クラブ
本間 英規(平9)

からのバトン

五ッ橋クラブ 佐々木 惇様へ

過日、福島の斎藤隆さんから本コーナーへの投稿依頼の電話を受けた時は、正直驚きました。約30年以上も前の出来事を事細かに記憶されていたこと。また、職場が

異なるにもかかわらず名前を覚えていてくれたこと等、大いに感謝したところでした。大変ありがとうございました。次にバトンを渡す会員の方ですが、古い記憶を思い起こしながら考えた末、約20年前関連する業務で大変お世話になった佐々木惇さんに決めました。

当時、佐々木さんが秋田勤務、私は仙台で社外監査対応を担当していました。監査の対象となる調査案件も広範囲で共に苦労しながら何とか乗り切ったことを改めて思い起こしたところです。現役退職後は第2の職場で現役時代に経験したことの無いギャップに戸惑いながら、各々の立場で懸命に取り組んできたことも思い出されます。最近ではお会いする機会もなぐ賀状による年始の挨拶程度とな

りましたが、先日、投稿依頼で電話した際、久しぶりにお元気な声を聞き大変懐かしく思いました。身辺の近況などお聞きしましたが是非お会いする機会を設けられたらなと思っております。「老い」を感じる年齢となりましたが、まだまだこれからだと自分に言い聞かせております。健康第一で好きなことを存分に楽しみながらお互い頑張っていきましょう。今回は突然のお願いで申し訳ありません。



五ッ橋クラブ
赤井澤 正利(平14)

からのバトン

五ッ橋クラブ 大久保 元司様へ

館山さん、ご指名ありがとうございます。

青森支店を最後に退職して14年距離が遠いこともあり、年賀状のやり取りだけとなりご無沙汰しています。早いもので出会いから約半世紀、夫々の場所での懐かしい

場面が走馬灯のように浮んできます。中でも初めての子供を育てた飯田橋社宅での家族同士の付き合いでお世話になったことや、吹雪と格闘しながら通信事業者の回線獲得競争に走り回った青森での事が強く印象に残っています。

現役の際からITを駆使し、今もブログで情報発信している館山さんの活躍ぶりは、いつも感心して見えています。

今年から私は五ッ橋クラブの囲碁愛好会に入りました。OB同士の北四県親善囲碁大会があるとの事、お相手できる日を楽しみに精進したいと思っています。

私は今年2月に中学生相手の塾講師をやめ、今は全くのフリー。ジョギングと団地周辺の杜の除草伐採、里山造りボランティア活動を楽しみながらやっています。

次の「会員リレー」は、町内会活動で活躍している大久保元司さんをお願いしたいと思います。先日、愛犬とジョギングしていた折偶然、退職以来の再会、急なお願いにも拘らず快諾いただきました。大久保さんは、私が秋田通信部

へ転勤した際の前任者、その縁でその後の職場でも大変お世話になりました。

今度は飲みながら地域活動や碁の指導を乞いたいと考えています。



五ッ橋クラブ
平井 妙子(平16)

からのバトン

北上電友会 千田 ケイ子様へ

電友会さくらんぼの土田とみ子さんから励ましのバトンをいただきありがとうございます。

私は昨年6月から電友会東北地方本部でお世話になっております。

現在登米市に住んでおりますが仙台まで往復2時間の電車内ではもっぱら推理小説三昧です。また休日は趣味の和紙ちぎり絵に取り組んでいます。手漉きの和紙の彩色や色の濃淡・風合い等に魅せられ、N.T.T退職後に始めたのですが好みの和紙が無い時は自分で染色をして染め上がりわくわくし

ながら想像し10号、20号の作品作りをしています。台紙に向かっている時は無我夢中で時のたつのも忘れ、なかなか満足のいく作品には程遠いのですが長く続けるためにも完成した作品は富山の五箇山全国和紙ちぎり絵展に出展しています。

現在我家は主人と2人暮らし。

娘2人はそれぞれ結婚し、私は外孫5人のばあばです。主人と2人で最近では日本酒の『八海山』にはまっています。今日はイーグルスが勝ちそうだからおちよこで乾杯！血圧が低い私たちには丁度いいかもね！等となんだかんだと飲む理由をつけながら、つつい調子に乗ると自宅カラオケで主人はプロジェクトXのテーマ曲「ヘッライト・テールライト」、私は「女・ひとり旅」をその気になつて歌っています。

歌と言えば東北支社時代にお世話になりました千田ケイ子さん。以前お会いした時コーラスを楽しんでいてということでしたがその後お元気でしょうか。近いうち電話をします。千田さんに会ってあ

頃の思い出をいっぱいお話したいです。



北上電友会
千葉 俊二(昭60)

からのバトン

霞城クラブ 長岡 廣様へ

辰ちゃん、お元気で何よりです。

小生こそ辰ちゃんには大変お世話になりました。車の免許を取得してくれたお陰で局長の送迎をお願いした事もありました。歌は大変上手で上部からのお客さんが来られた時は三戸のお姉さんの踊りよ辰ちゃんの歌に聞き惚れたものです。クローバーマークをつけた車で湯田の方に来られるとの事ですが1週間程前にお電話下さい。急に来られてもどうぞお入り下さいと云えません。お片付けしないと足の踏み場もありません。今日こそお片付けしましょうと思って起きてくるのですがテレビを見た

りスパーに買い物に行ったりで

つい明日こそその毎日です。つまらぬ事書いてすみません。益々お元気で過ごして下さい。私からは霞城クラブの長岡廣さんにバトンタッチをしたいと思えます。長岡さんとは北上局でお世話になりました。退職してからは毎年高価なサクラノボを送っていたいております。有難うございます。長岡さん宜しくお願ひします。



五ッ橋クラブ
渋谷 悦男(平18)

からのバトン

五ッ橋クラブ 佐竹 幸博様へ

皆さま、ご無沙汰しております。そしていろいろと大変お世話になりました。

平成18年N.T.T東北病院勤務を最後に退職した後、約10年間ドコモ東北グループにお世話になり、フリーとなつて約1年経過したところであります。

在職中は様々な経験を積む機会

を与えられ、また多くの諸先輩、同僚の皆さまから、公私に亘り温かい指導、ご厚誼をいただき心から感謝しております。ありがとうございます。

プライベートでは、ある意味自由に使える時間が出来、何をやるうかと楽しみにしていたところもあつたのですが、先の東日本大震災によって亘理にある実家が全壊し、5年経つた現在でも、被災の後処理、諸手続、地元の方々の会合等、結構慌ただしく過ごしています。

ただ地元に出すことが多くなつたことで、会社勤務の時にはあまり付き合いが出来なかつた友人等と旧交を温める機会も多くなり、昔返りで楽しんでいきます。これからも、これまで同様に声をかけていただき、皆さまと酒席を共にするなど、お付き合いいただければ嬉しいなと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

会員リレーは、ドコモグループですっかりお世話になつてしまつた、佐竹幸博さんをお願いします。



五ッ橋クラブ
江口多恵子(平13)

からのバトン

五ッ橋クラブ 濱田しみ子様へ

現役時代は余裕もなかつたのでお茶の稽古が一番の楽しみでした。あいにく正座が出来なくなり挫折せざるを得ませんでした。

退職すると時間はたつぷり。町内会、年寄りの会、退職者の会、いきいきネット、電友会等のお手伝いをチョッピリと遊びつつ、腹から声をと謡曲、いつまでも踊れるフラダンス、手先を使う折紙、頭も使う麻雀、少しは知識もと歴訪会等々相手をしてくださる方の迷惑も考えずに、時間一杯楽しんでます。

先日ふと思ひ立ち、入社2年目の職場の先輩方に声を掛け、食事を催しました。最高齢94才の方も、楽しく話はずみ、あつと言う間の3時間でした。先輩方の元気な姿、生きる姿勢に接して私も

健康に気を配り、楽しみながら、

もう少しボランティアにも力を入れ何らかのお役に立たなければと一寸反省もし、決意しました。

その食事会の際にお手伝い頂いた、濱田しみ子さん、相変わらず囲碁にプールにとお忙しいでしょうが、私からバトンを受けて下さい。



盛岡電友会
館澤 義雄(平6)

からのバトン

福島地区電友会 横山 紘様へ

遠野地区電友会の事務局長として長年に亘り会の運営に貢献されている田代明子さん、あなたからバトンを受け恐縮しております。その節は大変お世話になりました。どうぞございました。

電友会のみならず、地域の活動や仲間との交流を積極的に進めていることに敬意を表し、いつまでも元気で活躍されることを祈つ

しております。

私は10年お世話になつたTTKを退職して早や12年が経ちました。身体のみならず不具合を感じようになりましたが、「歳相応・やむなし」と決め込んで、犬の散歩と週2回の図書館通いの他はぼんやり過ごしております。現在闘病中の妻の体調が少し和らげば、訪れたことのない県の観光地を回りたいと思っております。

NTTに入社しTTKを退職するまでの45年間、多くの方々にお会いしいろいろご指導を受けました。自分の無知を省みず「お世話になつた先輩・同僚へその恩返しを」と思いつつ、何もできずに過ごしてしまいました。せめて電友会の役員を務めさせていただいたことが、自分勝手な解釈で「ささやかながらひとつのお礼になつたのかな」と思っているこのごろです。

さて次回へのバトンは、私がNTT退職時の前後に特にお世話になつた、福島地区電友会の横山紘さんに当時のお礼を込めて引継ぎします。

会友コーナー

文芸

俳句

短歌

川柳

詩

随想

文芸欄



俳句

福島地区電友会

関戸 武

エンジンの音異なりし春田打ち
田水引き真つ直ぐな声届きたる
信夫野の春の田水が闇に鳴る

加藤 良栄

葉桜や地蔵ようやく頬笑めり
雲ひとつ無き青空や雪うさぎ
初恋の想ひ薄氷踏む如し

弘前地区電友会

倉谷 景子

風をきる荒馬の舞ひや草いきれ
じゃわめきが闇引き寄せる佞武多かな
球児らに祈り一分終戦日

石巻電友会

阿部萬喜子

海見えぬ防潮堤の薄暑かな
復興のダンブダンブや行々子
メールにて声なき会話こいのぼり

五ツ橋クラブ俳句同好会

青山 誠一

秋潮の低唱つづく里の浜
乱調に競ひあふなり紅葉山

流木を止む砂浜秋の声

赤木 善男

春夜妻リハビリ疲れで日々過ぐす
被災人涙を笑顔に花苺
紫陽花や紫紺・ピンクに分け束ね

泉 あや子

冷奴薬味ひとつで旨みあり
夏帽子夫婦揃いの旅支度
芽吹く木々空を仰ぎぬ深呼吸

斎 仁二郎

一族は締めて六人夏の旅
先に逝く者が幸せ門火焚く
少年は水平線へ草笛を

佐々木栄一

マフラーもシャツもピンクに老の春
老いてなお街の灯恋し春の宵
精一杯生きる証の紅葉して

菅原 了二

魯迅の碑青葉繁れる城跡に
草も木も一息入れる夏の雨
清冽な泉の底に砂躍る

富樫 瞭

雲の峰金属バットの音吸へり
檜の葉の輝き増せり夏の雨
蜂の巣や空き家の増へし古団地

斎藤 弘一

地面からゆつくり春が湧きあがる
お前もか燃費いじりは止められぬ
老いてなお抱く晩成の志

川柳

五橋川柳会 会員作品抄

赤木 邦夫

パパ似だと言われ泣きだす我が娘
燃えたぎる心を押さえ駒をさす
ライバルに燃える闘志の力湧く

福島地区電友会

関戸 武

昭和記を歩みし頁書は薫る
朝食前半切二枚書き修め
小津映画笠智衆居て原節子

短歌

金澤 克人

スキップの先に待ってる水たまり
巻き付いた先が運命の豆の蔓
背伸びした僕の財布が瘦せてゆく

五ツ橋クラブ

川上 清

小柳 芳雄

教育勅語左脳に夫婦五十年
生き様を語れば介護・絵・川柳
細々と未だ燃えている生きている

水溜りの夕日は消えて津波去りし
町を星空頼りに去りぬ

日がのぼり街より起こる騒音は
うねりとなりて山に入りゆく

霧の濃き浜辺の人かげ淡くして
はしゃげる子犬砂につまずく

会友コーナー作品募集

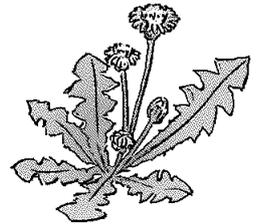
会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

○短歌・俳句・川柳など 〈お一人3首(句)以内〉

○随想・旅行の思い出など 〈1,200字以内/年1回掲載※〉

※ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

随想



米寿の回想



電友あさか会 志賀 昭利

昭和18年夏、校庭で配属将校の軍事訓練を受け「海行かば」を合唱、軍人勅諭・戦陣訓をたたき込まれ甲種幹部候補生を志望せよの訓示に皆黙っていた。

厳しい戦時下、野球と英語教育を続けてくれた教師もいた。反骨のあらわれか？

翌19年学徒動員にて日立製作所で航空機高度計の製作に従事、志気旺盛学徒が主力であった。ある日空襲を受け緊急に壕に退避。1人の将校が居た。解除されると彼は真つ先に出て行った。居場所は戦地では？と訝り哑然とした。

翌20年卒業のため母校に戻り、4月通信省に就職し福島工務出張所平分室に勤務したが職場は手薄であった。ある日軍用回線定期試験中、塩屋岬海軍基地と横須賀鎮守府東北軍

司令部との通信を偶然傍受し、四倉沖合で漁船が攻撃され次々に沈没していることを知り敵は間近とひしひしと緊張感を覚えた。

本土各地は次々に爆撃され大きな被害を受け原爆投下後終戦となり、国民に戦況は一切知らされなかった。

戦後は戦災復旧、資材提供による電話架設無電話地域の通信確保等、繁忙を極めた。食糧・住宅・経済の回復に伴い加入申込が増加し、積滞解消策を日夜練ったこともあった。

自動化市外集中化が進み拡張工事が各局で進められた。建設部在勤中は特に繁華街の地下設備や特殊工法による鉄道・道路の地下横断は安全第一、指導監督は緊張の連続であった。又、保全部門にも永く携わりサービスオーダの円滑な実施・設備の点検修理・災害の早期復旧・その他幅広く活動したことを思い出す。

工事連絡室当時、部外折衝を担当し国・県の出先機関・市町村・国鉄・一般企業等と多くの案件で交渉した。難しいものは相手の立場意見を尊重しつつ案件の趣旨、社会的利便性を強調し理解を求めて真摯に根気よく交渉することで全て成立させて、垣根を越え多くの知己を得た。

TIKに移り安全管理を担当して全国的に

転落・酸欠・火災等による死傷者が続出し、防止対策は急務であった。事故事例の分析説明・安全対話と意見集約を重ね、保安用器具の整備等危険の予知と防止活動を活発にし、確実に実行するよう厳しく指導し、徐々に軌道に乗り安全対策は人を守り生産性を向上させる理念を植え付けさせ安全対策に限界はない。

通信省↓電気通信省↓電電公社↓NTT↓TIKと身分も官吏・公社社員・会社員に変わった。

節目は初心に戻る時でもあった、転勤12回単身赴任15年、平成4年退職した。悲喜交々多くの人々に感謝するばかり永くも短いものだった。

退職後は家事の補助員に徹し、妻と多くの名所・史蹟・温泉を訪ねた。庭木・芝・草花の手入れは妻と共同作業とし、体育の時間と称していた。朝4時起床。妻との散歩は10年以上続き、自然の残る近郊では狸の親子連、リスの木登り、カタクリの群生等に歓喜したこともあった。時に開成山公園まで足を延ばし3周して12000歩、花見客をかき分けて散歩することもあった。

今は1人暮らし。遠方の長女が毎月訪問をしてくる感謝の至り、かかりつけ医とは20

数年の付き合いで今後も欠かせない。

憲法・安保法制・外交・原発・沖縄基地・社会福祉・TPP・その他多々国の基本・行末に関するもの常軌を逸する決め方に大きな憤りを覚え重大な関心を持っている。

「国破れて山河あり」ときくが山河も危ぶむ。

私の行状



電友あさか会 栗野 忠明

私が電話局に入社したのは昭和23年5月通信省仙台電気通信工事局会津若松出張所での後、二省分割で電気通信省になり昭和27年8月に電電公社、昭和62年に株式会社NTT東日本、初めて株式をも売り出して1株250万円と高値をつけ売り出した今では45万円と随分下がりました・・・。

平成元年5月に退職し電友あさか会に入会しいろいろサークルでの思い出が沢山ありました。

郡山電報電話局の「交換機」の流れを見ますと共電・クロスバー・DXと目まぐるしく変化した40年でした。

平成23年3月11日東日本大震災が発生して

皆さんも記憶にあり大変なことでしたね。

息子は北塩原でペンション経営してありますが、12日浪江町役場から突然助けてくださいと25人程度泊り、翌日6人助けてと泊り込んできました。何があったのか解らずTVニュースを見て大変なことが起こっていると知り15日には息子より「米」が無いので何とかしてくれと連絡を受け実家としても困りました。

妻がJA大槻農協の女性部（スポーツ民謡）幹事をしていたのでJAの部長に話をして支店長に頼み、これは一大事だと云われて米90kgとジャガイモ20kgを緊急に売ってくれて一路ペンションへ出発。途中猪苗代・北塩原間の道路破損のため喜多方より迂回して無事届けることができました。

その後「県・国」から救援物資が続々届きペンションに置かれないう程になり3世帯分の物品等を実家の応接間で1年6ヵ月程度預かって置きこれもボランティアの1つだと協力しておりました。

今では本宮の仮設住宅へ転居して、個人的に不足している物があれば届けたり不用になつたものを家に持ち帰ったりお付き合いをしております。（平成24年3月）

私は昭和6年生まれの高齢ですのでこれから

からも健康に注意をしながら楽しく生活していくつもりですのでよろしく願います。

並びに「東北電友会会報」いつも楽しみにしておりますので、謹んで編集者諸氏に感謝申し上げます。

70歳で東京マラソンに挑戦



千秋クラブ 高橋 幸雄

1度は走ってみたいと思い毎年応募はしていたが抽選に外れチャンスがなかった東京マラソン。6年間の思いが通じたのか70歳を迎えた今年の大会に当選。これまで仙台国際ハーフマラソン、田沢湖マラソン20kmは走っていたがフルマラソンは初めて。最低20kmの練習ができていればフルは走れるという諸先輩の助言を受け10月から2週に1度は20km、他は10〜15kmを3日に1度走り大会に備えた。雪国の練習には限界もあったが、雪の降る日はトレニングルームで筋力を鍛えた。

前々日にビックサイトでの受付を済ませ、大会当日は朝7時からの荷物預かりに合わせスタート地点の東京都庁前に向かう。スタートまで2時間余り前というのにかなりの人。

それもそのはず今回の参加人数は37000名。招待選手等は別にして11倍の抽選の難関をくぐり抜けた運の良い人・人・人。申込み時点で自己申告タイムにそってあらかじめA〜Jまでのクラスに分けられ1時間半前にスタートラインから順に待機、(自分は5時間30分の申告で後ろから2つ目のKクラス) 9時10分スタートの号砲が鳴ったが、私がスタートラインを超えたのはそれから18分後であった。ぶつかりそうになりながらも間を縫って前に進む。スタートまで2時間ほど待ったこともあつてかトイレに行きたくなる。仮設やコンビニのトイレは500mから1km間隔にあったが、どこも20人程の列。そんな時ふと大会のスポンサーが東京メトロであることを思いだし4km付近で地下鉄の駅に駆け込んだ。階段を降りることは必要だが並ぶよりはいい。駅員も親切で切符がなくても改札を通してくれて1回目の用を足しランナーの集団に戻る。5km地点で家族の応援を受け進む。日比谷交差点付近で仙台に住む知人の声援に感謝しながら日比谷通りを過ぎ品川の15kmの折り返しに向かっていたら路面状態が悪く足底に痛みを感じた。日比谷NTT前の20kmでのタイムは予定通り。銀座4丁目付近で2度目の家族の応援を受けトイレの為地下鉄



70歳で東京マラソンに初挑戦!

の駅に再度飛び込み浅草に向かう。雷門が見えてきたあたりから腰、股関節に痛みがでてきた。マラソン大会でよくいわれる30kmの壁という言葉が頭をよぎった。歩いてても痛いし、腿、ふくらはぎも張ってきていた。沿道の応援者からエアースロンパスの提供を受けながら進むしかなかった。35km付近で3度目の家族の応援を受け普段の歩くより遅いスピードで走り続けゴールを目指した。35kmからゴールまで3つの橋がある。前を見ても後ろを見てもまるで蟻の行列のように見えた。40kmを超え有明のビックサイト付近では痛さをこらえながら最後の力を出し切り15時57分(所要

5時間28分)ゴール。少し目頭が熱くなるのを感じた。70歳にして初のフルマラソン。運よく抽選で当選し完走できたことに大満足である。
来年も参加の応募をしようと思っている。

〈別れの曲〉シヨパンの生家を訪ねる



五ツ橋クラブ 小坂 仁

ポーランドのワルシャワは遠い。シヨパンの生家はさらに遠かった。1831年、ワルシャワの市民は民族独立のため一斉に蜂起した。しかしロシアの占領軍は大砲と銃剣で踏みしにじり多くの命が失われた。ウイーンにいたシヨパンは絶望のあまり悲しみと怒りを鍵盤に集中した。心に刻まれる「革命」という曲である。シヨパンの日記が残っている。神様、何故復讐して下さらないのですか。お母さん妹達よ心配でならぬ。凶暴なロシア兵の犠牲になったのではないか。今は真夜中、教会の鐘が12時を告げる。すぐにでも帰りたい。悲しみで眠れない。

私達を乗せたバスはワルシャワ郊外を走った。生家はマロニエ、ポプラ、プラタナス等

に囲まれた林の中。平屋の大きな建物であった。こちよい風に花々が揺れる。ペニチニアが美しい。玄関前ではもの思いに沈んだシヨパンの銅像が迎えてくれた。19才まで過ぎた生家。命より大切にしていたピアノの前にたたずむ。心の中に「別れの曲」が流れる。波濤万里。遂にシヨパンの故郷に辿りついた。夢にまで見た積年の想い。木漏れ日がピアノを照らす。花々を愛し葉音に耳を傾け、思索しながら作曲したのであろう。桜の木があった。日本から贈られた八重桜です。日本人が満開の桜の下で喜びます。黒い瞳の美しい女性が流暢な日本語で案内してくれた。画家ドラクロア（親友）が描いた、相手を見つめる寂しそうなシヨパンの肖像画があった。晩年愛人サンドに別れさせられた頃の姿であろうか。心が痛む。家族を思い、限りなく祖国を愛したシヨパンは38才でパリにて死亡。再び故郷のワルシャワに帰ることはなかった。

午後ミニコンサートが開かれた。夜想曲、別れの曲、雨だれ、等々。細身の女性のピアノニストであった。感謝をこめ、仙台柳生和紙で造ったハンカチを贈った。友情と連帯の握手にはシヨパンの「黄金の指」の温もりを感じた。深い感動と哀しみが全身をつつみ、生涯に忘れられぬ思い出となった。帰るバスに

も「別れの曲」が流れた。初恋の人マリアは許嫁であった。でも、結核故に相手の両親から婚約を破棄され苦悩と悲しみの中で生まれたのが「別れの曲」であった。恋人マリアへの魂をこめた惜別の愛の結晶であろうか。シヨパンには晩年、男装の麗人小説家のサンドとの未来のない愛情関係があり生涯結核に苦しみ病弱であった。ピアノの詩人、シヨパンの音楽は明るい幸福感ばかりではない。哀愁の思い出が織りなす曲も多い。時には切なく、絶望的に聴こえるのは私だけなのかも知れない。数々の思い出を乗せたバスはワルシャワ市に着き、シヨパンの心臓が眠る聖十字架教会に向かった。

君はまだ覚えてるか肩をふれ
シヨパンの生家を訪ねた日々を

現代鰻考



五ツ橋クラブ 齋藤 光巧

1、蒲焼の香り

猛暑の季節、夏バテ気味の身体は体内時計が土用の丑の日が近いことを知る。土用の丑の日は鰻の旬といわれ、江戸時代に鰻屋は夏

場の売上げ不利打開のため、時の人・平賀源内に依頼し「本日、土用の丑の日」の看板を掲げ鰻屋は大繁盛したという。

現在、世界の鰻漁獲量の16万トン、その7割を日本が消費する食文化を持つ。特に土用の丑の日の前後は年間消費量の3割〜4割を食し、世界の鰻を食べ尽くす勢いである。

昭和の時代、鰻はハレの日の定番で家族で外食した記憶がある。1970年代に入りファーストフード化が進捗、真空パックの冷凍うなぎはヒット商品となり、ハレの日の定番であった鰻は家庭の電子レンジでチンの時代となった。

2014年6月、国際自然保護連合（IUCN）が日本の伝統食の1つ「ニホンウナギ」を絶滅危惧種に指定、近い将来に絶滅するとレッドリストに掲載、警告を発信した。現在日本人が食べるウナギの99%以上が稚魚（シラス）からの養殖もの。シラスの不漁が続く30年間で供給量は50%も少なくなり、今後、価格を維持し食べ続けられる保証はどこにも無い。親うなぎは日本等の河川で育ち、遠く離れた太平洋マリアナ海溝付近で産卵する。その後稚魚（シラス）は海流に乗って日本近海に辿り着き、遡上し成長、親うなぎとなりふたたび海に戻り産卵するため科学的な裏付

けの障害となっている。

2、「えどめえ」と旅うなぎ

日本食文化を代表する鰻は、国内縄文・弥生遺跡の約130箇所から骨が出土し祖先の食資源であったことが伺える。「万葉集」の大伴家持の句「石麻呂にわれ物申す夏痩せによしと云うものぞ鰻取り食せ」と詠われ、当時から夏痩せの妙薬であった。古代、西洋でも八目鰻は鳥目（夜盲症）に良しとされ珍重されていた。

鰻料理は江戸時代に進化し、江戸っ子は訛って「えどめえ」といい、江戸前にこだわった。「江戸語の辞典（前田勇編）」から引くと江戸の前の意で江戸近海を指し、海産魚介と広く捉える時は芝・品川付近の海を言う。当時、銚子で獲れたものより鮮度が良く江戸っ子は高値もいとわず賞味し、浅草育ちの作家池波正太郎は隅田川と神田川の水のまざりぐあい江が江戸前の魚の味を高めたと書き残している。

宝暦年間（1751〜1763）頃、天然もので何月はお台場で獲れたものを指し、特にウナギは浅草川（隅田川の浅草付近）や深川で獲れたものを江戸前といい、何月は江戸川（隅田川）の落ちウナギに限ると粹を重んじ、「えどめえ」以外は「旅うなぎ」と呼び

遠方ものを区別した。

3、鰻料理の老舗「やつこ」

江戸情緒が残る浅草の隅田川の河畔に鰻料理の老舗が多い。その1つに「うなぎやつこ」がある。庶民川柳に「のらりくらりした奴もあり田原町」と詠われた名店で、勝海舟やジョン万次郎が連れだつて通い、夏目漱石の「虞美人草」や「彼岸過迄」に登場する。

やつこが江戸時代から守り続けてきた伝統の味は、1度蒸してから2回〜3回タレにつけて備長炭でふくらと焼き上げる本格的な蒲焼の味である。私は上京の折に財布の中身と相談しながら老舗の蒲焼を味わい、池波正太郎記念館を鑑賞し下町の情緒を満喫した。

江戸時代の初頭、鰻はブツ切りにし串にさして丸焼きにして単品で売られた。大阪では一般魚と同じく腹開きにして焼いたが、江戸は武士の町、腹開きは縁起が悪いと背開きとし、1度蒸して焼き身を柔らかくし、タレ付けで焼き売られていた。近世職人絵言司（国立国会図書館蔵）は鰻屋を夫婦で営み繁盛した様子が描かれ、当時、大工の日は約6600円、鰻の蒲焼の価格は約3000円と大工の日の半分の価格であった。

うなぎは「串打ち3年、割き8年、焼き一生」ともいわれる年期のいる職人芸、その後

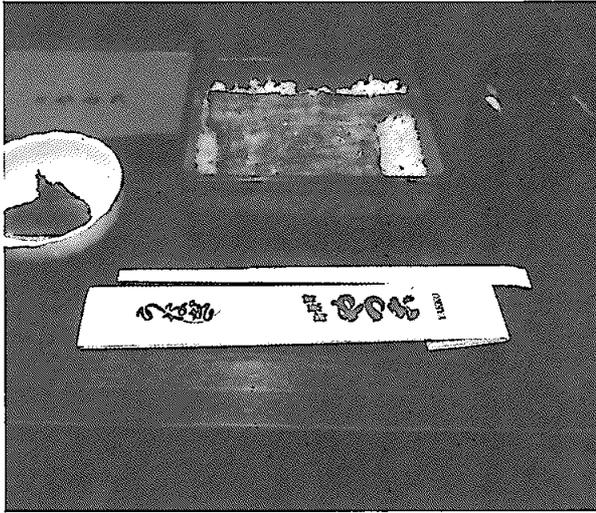
日本橋葺屋町の大野屋が元祖鰻めしの看板をかけた。当時、江戸三座の1つ「市村座」の芝居役者は舞台に追われ食事時間はいつも不規則、蒲焼を冷めない工夫として炊き立てのご飯の上に乗せたのが「元祖鰻めし」となりその後「鰻井」と呼ばれるようになった。

4、江戸っ子と4大フード
江戸時代の4大フードは鰻やそば、握りずし、天ぷらを指し、この間260年の食文化は職人芸により美と味が追求され今日味わう和食の原形を築いたと言っても過言ではない。

和食の研究は英インペリアル・カレッジ・ロンドン 脳栄養化学研究所マイケル・クロフォード所長は魚の脂肪（魚油）は脳の働きと密接に関係、日本人の食習慣は評価された。

厚生労働省の調査は10年前と比較して食の欧米化が進捗、魚介類の摂取量が102グラムから78グラムに減少し、魚ばなれが指摘された。日常の魚食は栄養の宝庫、DHAやEPAは動脈硬化や心筋梗塞、認知症の予防や改善に役立つことが立証されている。

鰻は日本人のハレの日の定番、土用の丑の日、蒲焼の味と香りは鰻屋のタレにかかっている。タレの年輪で店の暖簾の格がきまるともいわれる。「串打ち3年、割き8年、焼き一生」ともいわれる職人芸、絶滅危惧種のレッ



「うなぎやっこ」の鰻料理、「えどめえ」の味を堪能、
ランクは財布と相談



「うなぎやっこ」老舗の風格、店内はステンドグラスや暖炉があり、
和洋折衷の空間は鰻の味と合間って感性が刺激される

テルは貼られたが、鰻を上手に食いつなぎ次の
の世代に蒲焼の香りと味ぐらいいは残したいも
のである。

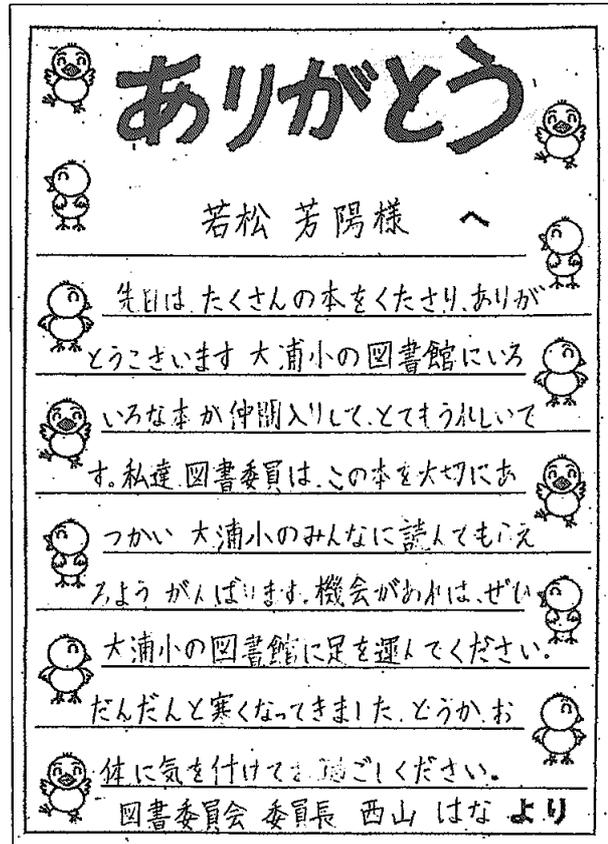
この記事を読んで、大それたことは出来ないが、母校の小学校へ贈本してはどうかと考えた。
実家への墓参の折り、母校いわき市立大浦小学校を訪ね、校長先生に会い趣旨を伝え、「少年少女世界児童

小学校卒後70年の節目にー母校へ贈本ー
戦後70年、小学校卒後70年の節目のその証として何か?と考えていた時、某新聞の記事が目に入った。
その記事は、考察力や判断力を養うには読書が欠かせないと言う趣旨から、読書好きな子供を育て心身の健全育成を図ろうと「子ども読書活動推進」が、今、全国的に進められており具体的には読書の楽しさを学ぶ機会の提供であり、図書館の環境整備や学校図書館の蔵書充実等々であるとのこと。

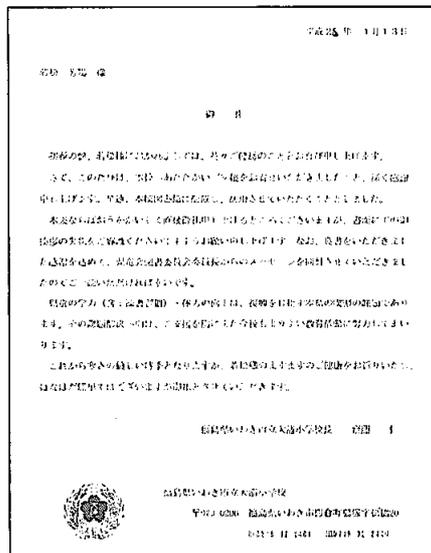


五ッ橋クラブ 若松 芳陽

道端の雑音 (その6)



図書委員長からのお礼の手紙



校長先生からの御礼状

文学全集」30巻を送本することとした。なお偶然にも校長先生は、高校の後輩であった。後日、校長先生と児童（図書委員長）からお礼の手紙が寄せられた。

青葉祭りで元気に「木遣り」を楽しむ!!



五ッ橋クラブ 近藤 詣壽

5月15日に開かれた第32回青葉祭り。五ッ橋吟友会の有志4名はNTT宮城グループの山鉾の陣頭で木遣りを歌いながら、NTT雀踊りの仲間達と仙台市内の大通りを巡行し、最後は市役所前で伊達木遣り会・気仙沼人力車木遣り会のメンバーで青葉祭り参加の山鉾11台の前でおよそ2000人の聴衆を前に元気に歌い上げ無事に終了しました。(木遣り／山から木材を運ぶ際の掛け声が発祥の労働歌で、最近では上棟式・結婚式などの目出度い席でも歌われている)

昨年は伊達木遣り会・気仙沼人力車木遣り会の応援を頂きながらの私1人の参加でしたが、今年は詩吟の仲間4人で参加し、特にNTTの現役の仲間から声高らかに「受け」の発声をして頂き、終了後の直会なまわいではこの祭りを通じ「現退一致」の場が広がって良かったと現役の社員達と話が弾みました。

青葉祭り協賛会事務局によれば、今後は木遣りも雀踊りと肩を並べるよう知名度を高めていきたいと話しており、今からは青葉祭り

のメイン行事になると思われます。(河北新聞5・4)我々も来年は木遣りの参加メンバーを10人位に増やし、NTTグループの山鉾とOBの意気盛んなところを更に世に知らしめたいものと今から練習を励んでいるところで



柴田宮城事業部長と五ッ橋吟友会有志

練習日は以下のとおりです。全員が未経験者から始めておりますので興味のある方は是非とも参加下さい。腹からの声出しでスカッと、練習後はノド越しのビールが待っております。

練習日 毎月第3月曜日

午後4時から1時間程度

場所 NTT五橋2ビル OBサロン

費用 無し

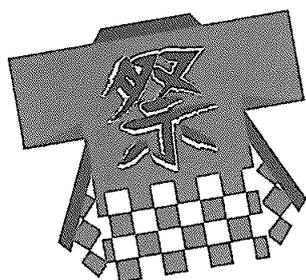
問い合わせ先 近藤宛

電話 090-12794-12128

メール kondounji@seagreen.ocn.ne.jp

◆会友コーナーへの投稿について

- ◎他紙等への二重投稿はご遠慮願います。
- ◎随想コーナーへの投稿については誌面の都合上、左記内容にご協力をお願いいたします。
- 掲載・・・年1回
- ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。
- 字数・・・1200字以内厳守
- 次回締切り・・・平成28年10月20日厳守



でんでんみちのく
川柳コーナー

福島地区電友会

高橋 敬一

古希迎え余生も生くぞ俺流で
五輪出る夢持ち旅った孫頼もし
除染土今も我が家に居候

斉藤 政夫

はやぶさ号福島県の駅スルー
災害時公衆電話見直され

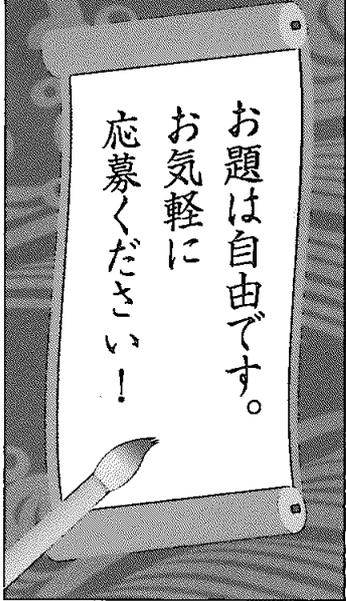
三森 陸美

ポケ防止散歩しながら尻取りを
ぬいぐるみ外は極楽内地獄
鬼嫁と呼ばれる人に誰がした

白河地区電友会

内山 ヒサ

花に問う住み心地よい土地かいな



お題は自由です。
お気軽に
応募ください！

誉められてその気になってまた一句
足踏みをしたくなります八十路坂

青森地区電友会

秋田 稔

笑わねば朝の鏡に叱られる
転ぶたび聞こえる父の応援歌
罪一つ消えた気がする寺参り

館山 生木

ネット碁の震えるマウスで石踊る
敷いた床いびき気遣いちよつと曲げ
薬飲み晩年の母偲ぶ春

弘前地区電友会

三上 幸光

独房の四隅に罪をおいて泣き
孫三人男ばかりで遠慮なし
同じ年年のゆくほど妻威張り

三上 幸子

成人の孫へ反戦説く祖父母
亡き友の想い深める夜の静寂
うれしきは今年も桜夫と愛で
ゆきやなぎ

リセットもこれで最後と六十路越え
十七歳ジャンプ鮮やか元気猫
新人へエール年金頼んだぞ

八戸地区電友会

松橋 成子

秋まつり稚児行列に孫の顔
クラス会喜寿の祝いでしめくくる
風鈴をしまい忘れた秋の風

和 吾

花は咲く歌で世界に橋を架け
百までとサプリメントの花盛り
水浴びが欲しい野菜の一人言

十和田地区電友会

町屋 寛一

春が来た海山川が俺を呼ぶ
ウォーキング継続こそが力なり
イケメンがイケメンやめて議員やめ

小牛田クラブ

のぶさん

廃屋の荒れた庭にもサクラ咲く
旅行会宴会後には薬飲会
喜寿となり寂しい限りクラス会

川北 石松

同級会花が咲くのは孫話
今日だけと決めた禁煙また延びる
高齢者今日もせつせと医者がい

五ツ橋クラブ

天道坊や

失樂園望んでみれど濡れ落ち葉
電友会話題病の競い合い
たくわえの利息でござるは飴買えず

やまボーイ

よそゆきはベスト綿パン野球帽
帰り船口一文字防波堤
山登り行くより増えたマッサージ

千秋クラブ

高橋 幸雄

待ちきれず花は蕾の花見酒
花をめで話に酔いて千鳥足

堀 久美子

散り際は風にまかせて散る桜
風をうけ流れにたくす花いかだ

樋渡 徳義

今宵また話が弾み午前様
妻の前弱音を吐かず腰さする

小坂 公一

芸も無く黄昏を往く口達者
メロディーは親子のカラス五重唱

傳農 實

安保法毎日の記事に辟易す
胸に侵むちびりちびりと含む酒

辰 正祥

永久の幸杜の都で誓い合う
ノーベル賞狙って得られるもので無し

柏谷 武

アルバムをゴミに出せない訳がある
セールの断り上手妻が上



◎投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせていただきます。多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

◇◇◇ 川柳ワンポイント ◇◇◇

今回も、ちょっとおかしい川柳、ありがとうございます。気さくに投稿が本欄の趣旨ですが、作句にあたって我々初心者が注意すべき点を朝日新聞の記事(平成28年4月18日付)で見かけました。ワンポイントアドバイスとしてご参考まで。

①解説・報告型になっていませんか
決まりきった事柄の説明、報告は初心者に多いパターンとか。

②説教・標語型になっていませんか
叱つたり、スローガンのような呼び掛け口調も注意したい点。

③単なる言葉遊びになっていませんか
ダジャレは多くが単なる言葉遊びになってしまうとか。

こうしてみると結構難しくなり、「うがち」「軽み」「おかしみ」などと言う前に、なかなか言葉が出にくくなります。そこをもうひとヒネリすることで頭と心の柔軟体操になりそうですよ。次号また。
(編集者S・T)

◎表紙写真の紹介

磐梯山と猪苗代湖の風景

(夏を迎えた「会津磐梯山」と

安積平野の命の水がめ「猪苗代湖」)

福島県の母なる山「会津磐梯山」を背景に

「猪苗代湖」と郡山市民の水道水を取水している赤い屋根の「取水口」を撮影しました。

撮影当日は、早朝4時ごろから現地でシャッターチャンスをおねらいしました。なかなか雲が切れず、磐梯山の雄姿と猪苗代湖の水の青さを写すのに、大変苦労しました。昼前頃になり、ようやく山の姿と湖の情景がはっきりしてきたので、夢中でシャッターを押し続けました。

湖面を吹き渡る風にさざ波が起つさまと、悠然とした磐梯山の組み合わせに、思わず撮影の苦労が報われたひと時でした。

撮影者／福島地区電友会 犬飼 隆



編集後記

◆皆様のご協力のお陰で会報79号の発行ができました。ありがとうございます。

◆第1・4半期は、地方から地区までの理事会、総会が続き、その間を縫って会報の編集も行うため、事務局の業務が繁忙し皆様にご迷惑をお掛けしております。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、東日本大震災から5年で今度は九州に震災が降りかかってしまいました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

地震の後、会員の方からお見舞いの問合せをいただきました。全国の皆様に「お世話になった」ことが忘れられず、何か出来ればとのお気持ちでした。事務局に募金を持参される方もいらっしやいました。この心をいつまでも持ち続けたいものです。

「でんでんみちのく川柳」も投稿者が増えました。もっと多くの方の「ウイット」をお待ちしています。

今年は東北地方の梅雨入りが少し早まりました。会報が届く頃は夏真っ盛りでしょうか。皆様、体調など崩されませぬようお気を付けてお過ごしください。(T・S)

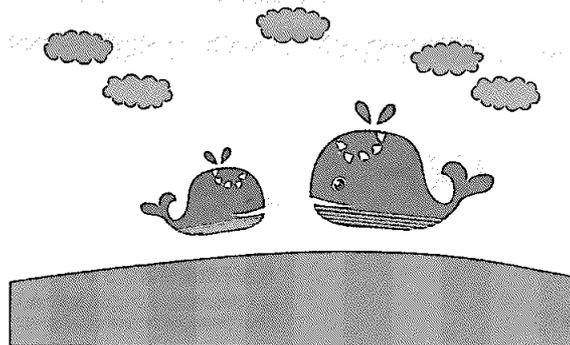
◆79号の巻頭言はNTT東日本福島支店長様にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

◆次号(80号) 会報について

・発行時期 平成29年1月1日

・原稿締切 平成28年10月20日(期日厳守)

◆次号(80号)の巻頭言はNTT東日本岩手支店様、電友会岩手支部にご協力をお願い致します。



東北電友会会報 第79号
 平成28年8月1日発行

電友会東北地方本部
 〒984 8519 仙台市若林区五橋3-2-11
 NTT五橋ビル内

電話 022-212-1144
 FAX 022-212-1144
 印刷 株式会社 仙台紙工印刷